

PAT-NO: JP361245226A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 61245226 A

TITLE: KEYBOARD

PUBN-DATE: October 31, 1986

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SUZUKI, YOSHITAKA

HOSAKA, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

FUJITSU LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP60088345

APPL-DATE: April 23, 1985

INT-CL (IPC): G06F003/02, H01H013/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent the fatigue of a key puncher during a long-time key input by providing a pad having a projection at the key puncher side of an array of keys and providing a cushion layer increasing its hardness from the key puncher side in order of arrangement of keys into said pad.

CONSTITUTION: A rubber pad 3 having a projection is provided at the key puncher side of a keyboard 1. Then a cushion layer increasing its hardness from the key puncher side in order of arrangement of keys 2 is set into the pad 3. Thus, the entire part of a palm of the key puncher has a contact with the pad 3.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

〔作用〕

パッド上に手のひらを接触させるような状態でキー入力することとなり、パッドの突起からの程良い刺激により、疲労感が減少する。

〔実施例〕

第1図は本発明の実施例である。

キーボード1に、キー2が配列され、本発明によって設けられたパッド3が具えられる。

パッド3は、ゴム材からつくることが望ましい。弾力性、成形性の点で優れるからである。

パッド3を設けるにあたり、キーボード1の手前側を広くとり、パッド3を設ける。

第2図に本発明に係るキーボードの主要部の断面図を示す。

図において、1、2、3は第1図に示したものと同様であり、4はクッション層である。

パッド3の面の高さは、キーボードのアップカバーと略同一の高さとするのが望ましい。

また、クッション4は、手前側から徐々に硬度

を増すようにする。こうすることにより、手のひらの手前側がより深く沈み、手のひら全体がまんべんなくパッドに接触するようになる。

第3図は、パッド3の突起の一例を示したものである。

〔発明の効果〕

本発明の構成とすることにより、パッドの突起が手のひらに刺激を与え、長時間のキー入力に対し、疲労感が減少する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例。

第2図は本発明実施例の断面。

第3図は本発明におけるパッドの突起の形状例を示す。

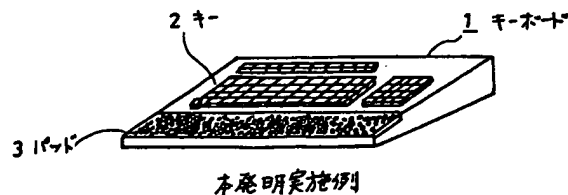
図において、

1はキーボード

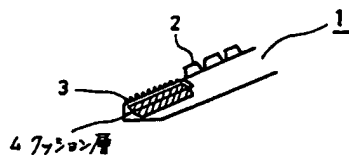
2はキー

3はパッド

4はクッション層を示す。



第1図



第2図



第3図